

平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年4月27日

上場会社名 フジオーゼックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7299 URL http://www.oozx.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 健三
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 服部 孝樹 (TEL) 0537(35)5873
 定時株主総会開催予定日 平成24年6月26日 配当支払開始予定日 平成24年6月27日
 有価証券報告書提出予定日 平成24年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期の連結業績（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	16,200	0.9	1,452	△19.5	1,594	△9.7	781	△16.7
23年3月期	16,063	18.1	1,804	141.7	1,765	101.9	937	91.7

(注) 包括利益 24年3月期 675百万円 (△28.9%) 23年3月期 949百万円 (94.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
24年3月期	37.99	—	4.0	7.0	9.0
23年3月期	45.60	—	5.0	8.1	11.2

(参考) 持分法投資損益 24年3月期 100百万円 23年3月期 △78百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期	22,973	19,935	85.8	959.75
23年3月期	22,742	19,465	84.5	934.72

(参考) 自己資本 24年3月期 19,721百万円 23年3月期 19,207百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期	498	△692	△206	8,149
23年3月期	2,342	△607	62	8,548

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00	205	21.9	1.1
24年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00	247	31.6	1.3
25年3月期 (予想)	—	5.00	—	5.00	10.00		—	

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	8,000	4.0	650	12.3	800	24.9	450	131.1	21.90
通 期	16,400	1.2	1,600	10.2	1,850	16.0	1,150	47.3	55.97

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
除外 1 社（社名 00ZX USA Inc.）

（注）詳細は、6ページ「その他経営上の重要な事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

（注）詳細は、15ページ「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」をご覧ください。

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期	20,559,500株	23年3月期	20,559,500株
24年3月期	11,497株	23年3月期	11,079株
24年3月期	20,548,316株	23年3月期	20,548,626株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

（参考）個別業績の概要

1. 平成24年3月期の個別業績（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(1) 個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	15,598	1.6	1,414	△8.1	1,647	△8.4	811	△15.8
23年3月期	15,354	21.6	1,537	205.8	1,798	121.3	963	101.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期	39.46	—
23年3月期	46.86	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期	21,961	19,160	87.2	932.46
23年3月期	21,688	18,555	85.6	902.99

（参考）自己資本 24年3月期 19,160百万円 23年3月期 18,555百万円

2. 平成25年3月期の個別業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	7,400	△0.4	650	14.2	750	13.0	450	91.4	21.90
通 期	15,000	△3.8	1,500	6.1	1,700	3.2	1,000	23.3	48.67

※ 監査手続の実施状況に関する表示

・この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた判断及び予測に基づき算出した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 経営方針	5
(1) 会社の経営の基本方針	5
(2) 目標とする経営指標	5
(3) 中長期的な経営戦略および対処すべき課題	5
(4) その他経営上の重要な事項	6
3. 連結財務諸表	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 継続企業の前提に関する注記	15
(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更	15
(7) 連結財務諸表に関する注記事項	16
(セグメント情報)	16
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18
4. その他	19
(1) 役員の変動	19

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

(当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国の経済状況は、東日本大震災及びタイ大洪水といった大きな自然災害によるサプライチェーン寸断の影響を受け大きく落ち込みましたが、その後の挽回は順調に進みました。

しかし、中国経済の成長性鈍化や欧州金融不安など世界経済は大きな不安要因を抱えたままであり、為替変動リスクや原油価格及び原材料価格高騰など、厳しい状況も続いています。

当社グループの事業の中心である自動車部品の需要も震災以降大きく落ち込みましたが、その後は国内のサプライチェーンの復旧による自動車生産の回復や海外の旺盛な需要に伴う海外関連会社への応援供給などが増加しました。

しかしながら、原価面においては急激な受注回復に対応するための輸送コストの増加や当期に稼働を開始した子会社である富士気門(広東)有限公司の立上ロスによる諸費用の増加等のコストアップ要因により売上高は増加しましたが営業利益、経常利益、当期純利益は減少いたしました。

これにより、売上高につきましては、16,200百万円(前期比137百万円増)、営業利益は1,452百万円(前期比352百万円減)、経常利益は1,594百万円(前期比170百万円減)、当期純利益は781百万円(前期比156百万円減)となりました。

当連結会計年度の販売状況をセグメント別に示すと次のとおりです。

報告セグメント	金額(百万円)	対前期増減率
自動車部品製造	15,317	101.2
流通	883	94.8
総合計	16,200	100.9

① 自動車部品製造

主力のエンジンバルブを含む当セグメントは、東日本大震災による落ち込みがありましたがサプライチェーンの復旧により自動車生産は回復し、海外についてもアジア地域を中心とした旺盛な需要から売上は前年度とほぼ横ばいの売上高15,317百万円となりました。

② 流通

当セグメントにおきましては前年度対比94.8%の売上高883百万円となりました。

(次期の見通し)

今後の見通しにつきましては、東日本大震災の復興需要の本格化と海外での自動車需要は引き続き堅調に推移すると期待されますが、国内の自動車需要は大幅な増加は見込めず、引き続き円高、原油価格の高騰、電力供給問題など厳しい事業環境が続くものと予想されます。

このような状況のなか当社グループと致しましては、原価低減活動による利益の確保、経費削減活動による固定費の低減などに取り組んで参ります。

この結果、通期の連結業績予想といたしましては、売上高16,400百万円、営業利益1,600百万円、経常利益1,850百万円、当期純利益1,150百万円を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は22,973百万円となり、前連結会計年度末に比べ231百万円増加となりました。

(流動資産)

当連結会計年度末の流動資産は14,708百万円と前連結会計年度末に比べ556百万円増加となりました。主な要因は以下の通りであります。

- ・現金及び預金については配当金の支払、有形固定資産の取得、法人税等の支払から373百万円減少しております。
- ・売上高の増加により受取手形及び売掛金が550百万円増加しております。
- ・生産量の増加により、たな卸資産が105百万円増加しております。
- ・未収法人税(還付税金)により流動資産(その他)に含まれている未収入金が211百万円増加しております。

(固定資産)

当連結会計年度末の固定資産は8,266百万円と前連結会計年度末に比べ325百万円減少しております。主な要因は以下の通りであります。

- ・投資その他の資産(その他)に含まれている投資有価証券が62百万円減少しております。
- ・前連結会計年度より繰り延べられていた子会社の清算終了、退職年金制度移行により投資その他の資産(その他)に含まれている繰延税金資産が138百万円減少しております。
- ・退職年金制度移行に伴い、投資その他の資産(その他)に含まれている前払年金費用が127百万円減少しております。

(流動負債)

当連結会計年度末の流動負債は2,796百万円と前連結会計年度末に比べ316百万円減少しております。主な要因は以下の通りであります。

- ・子会社の清算終了、退職年金制度移行による課税所得の減少も加わり未払法人税等が548百万円減少しております。
- ・生産量の増加に伴い支払手形及び買掛金が215百万円増加しております。

(固定負債)

当連結会計年度末の固定負債は243百万円と前連結会計年度末に比べ78百万円増加しております。主な要因は以下の通りであります。

- ・前連結会計年度末にフジオーゼックス(株)で繰延税金資産(固定)が285百万円計上されておりましたが当連結会計年度末には子会社の清算終了及び退職年金制度移行から繰延税金資産(固定)に関する将来減算一時差異が解消され対応する繰延税金資産(固定)を取り崩しております。この結果、当連結会計年度末に繰延税金負債102百万円が計上されております。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産の残高は19,935百万円と前連結会計年度末に比べ470百万円増加しております。

②キャッシュフローの状況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物(以下「資金」と言う)は前連結会計年度末に比べ399百万円減少し、8,149百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は498百万円（前連結会計年度比78.7%減）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益1,301百万円、減価償却費645百万円、仕入債務の増加215百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額550百万円、たな卸資産の増加105百万円、法人税等の支払額1,012百万円であります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は692百万円（前連結会計年度比14.1%増）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出638百万円によるものであります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は206百万円（前連結会計年度は62百万円の獲得）となりました。

これは、主に配当金の支払額205百万円によるものであります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移は下記のとおりであります。

	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
自己資本比率 (%)	87.6	84.5	85.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	27.1	29.8	32.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	36,645.6	101,838.7	41,485.7

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- ・いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
- ・株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。
- ・キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。
- ・有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営政策として認識し、配当政策につきましては、今後の業績・財政状態や配当性向などを総合的に勘案して、安定的な配当水準を維持することを基本方針としております。また、内部留保金については、将来に向けた新技術・新製品の開発及び設備投資をはじめ、国内外の生産・販売体制の整備・強化・研究開発活動等に有効に活用する考えであります。

当社は、安定した収益構造の確立と経営全般の効率化に向けて鋭意取り組んでまいり所存であり、当期末の剰余金の配当につきましては5円とし、中間配当金5円、60周年記念配当金2円と合わせて年間配当額を12円とさせて頂く案を本年6月の定時株主総会にお諮りすることといたしました。なお、来期の配当につきましては、中間配当金5円、期末配当金5円、年間配当金10円を予定させて頂いております。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社は、

- ① 技術を極め、お客様の高い信頼と満足頂ける製品を提供します。
 - ・物造りを本業とするメーカーの基本理念を謳っておりQCD(品質、コスト、デリバリー)世界最強の物造り体制(合理的かつ効率的生産管理・品質保証体制)を構築し、高いCS(顧客満足)を勝ち取っていきこうということを意味しています。
- ② 地球環境を守り、社会に信頼され、貢献する企業を目指します。
 - ・本項は、企業の社会的責任及び企業の社会性を社員全員が良く認識してもらうための理念です。公害を出さない、企業外部に迷惑を掛けないという消極的姿勢にとどまらず、積極的に社会貢献・活動等に参加して社会の信頼を高めていきこうという理念を謳っています。
- ③ 常に高い目標に挑戦し、企業の発展と個人の成長を喜び合える風土の醸成に努めます。
 - ・「企業は人なり」や、「物造りは人作り」といった企業にとっての人財の重要性を基盤とし、自己及び相互啓発、(+)思考、前向き姿勢、明るく活力に満ちた社風造りを推進していききたいという思いが込められています。

(2) 目標とする経営指標

売上高経常利益率10%以上を継続的に維持、確保することを中期計画目標としております。

(3) 中長期的な経営戦略および対処すべき課題

1) 中長期的な経営戦略

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、東日本大震災及びタイ大洪水影響などから回復基調にある一方、中国など新興国経済の成長性鈍化や原油価格及び原材料価格の高騰、円高の定着など依然景気の先行きは不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループといたしましては、これらの状況を踏まえ、徹底したコスト改善に向けた抜本的構造改革を推進してまいります。

当社は、長年に亘り自動車部品の世界的メーカーであるTRW社と技術・業務提携を続けており米国、タイ、韓国、中国に合弁会社を有しているほか、欧州、米国、東南アジア、インド、中国等の提携企業に技術や当社の開発設備の供与を行い、顧客のグローバル展開を積極的に支援してきております。

又、企業の社会的責任を果たし、世界のなかで存在価値のある会社として認められるよう、常に高い目標をもち、理想を追求していくことができる体質を目指します。

目標達成のために、次に掲げる4つの項目を、中期重要テーマととらえ、積極的に取り組む努力を重ねてまいります。

- ① 静岡工場合理化推進
- ② 海外戦略
- ③ 差別化製品の開発と拡大
- ④ 新製品・新事業の探索と実行

2) 対処すべき課題

今後の見通しとしましては、電力供給問題、欧州金融不安や原油価格及び原材料価格の高騰、為替動向など不透明な状況が継続し、また自動車業界において海外現地生産化が更に加速し、国内生産の空洞化が想定され、当社にとっては依然として厳しい状況が継続すると予想されます。

このような厳しい経済環境の中、12年度の基本方針はスローガンを「やり遂げる！ 変化を先取る意識と行動」とし、(1)品質競争力の強化と安全職場の確立(2)静岡工場再構築計画の具現化(3)富士気門の拡充と次なる海外展開の実行(4)魅力ある製品の確立と事業拡大を4つの柱とし、積極的に自ら行動することで更なる成長を目指し、収益の向上に努めてまいります。

また、海外については中国広東省の、富士気門(広東)有限公司の早期事業化に加え、新たな海外事業基地展開の検討を進め、経営基盤の強化、収益の確保、顧客のグローバル展開への対応などを推進してまいります。

更に、お客様、株主の方々、従業員、取引先パートナー、地域や社会の期待に応じていくために企業不祥事などを未然に防止する法令遵守を徹底するだけでなく、環境保護、安全職場の確保や地域貢献などに積極的に取り組み、CSR活動の実践を図ってまいります。

(4) その他経営上の重要な事項

①期中における重要な子会社の異動について

00ZX USA Inc. は清算終了した為、連結の範囲から除外しております。

②出資比率変更について

フジオーゼックス(株)は平成24年3月31日をもって当社連結子会社である富士気門(広東)有限公司の出資金の一部を持分法適用会社の新韓バルブ工業株式会社より62百万円で取得いたしました。

これにより富士気門(広東)有限公司の出資比率は67%から75%となりました。

〈出資者構成〉

フジオーゼックス(株)	75%
TRW Asia Pacific Co.,Ltd	25%

3. 連結財務諸表

(1) 【連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,964,607	6,591,692
受取手形及び売掛金	3,796,720	4,347,143
商品及び製品	589,834	593,398
仕掛品	410,815	573,412
原材料及び貯蔵品	543,777	482,524
繰延税金資産	207,149	132,737
関係会社預け金	1,583,688	1,557,698
その他	60,846	440,129
貸倒引当金	△6,000	△11,219
流動資産合計	14,151,435	14,707,513
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,816,396	7,098,542
減価償却累計額	△4,175,263	△4,332,764
建物及び構築物（純額）	2,641,133	2,765,778
機械装置及び運搬具	16,610,614	16,933,260
減価償却累計額	△15,231,604	△15,382,033
機械装置及び運搬具（純額）	1,379,010	1,551,227
工具、器具及び備品	715,244	731,570
減価償却累計額	△632,715	△664,275
工具、器具及び備品（純額）	82,528	67,295
土地	2,332,257	2,332,257
建設仮勘定	470,331	173,326
有形固定資産合計	6,905,259	6,889,884
無形固定資産	28,238	25,918
投資その他の資産		
投資有価証券	777,122	714,789
長期貸付金	40,897	27,505
繰延税金資産	187,450	49,821
前払年金費用	292,055	165,320
その他	386,769	420,357
貸倒引当金	△27,523	△27,912
投資その他の資産合計	1,656,769	1,349,879
固定資産合計	8,590,266	8,265,681
資産合計	22,741,701	22,973,194

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,766,174	1,981,412
未払法人税等	595,209	47,052
賞与引当金	47,875	51,864
役員賞与引当金	26,800	27,440
その他	675,385	687,925
流動負債合計	3,111,443	2,795,693
固定負債		
繰延税金負債	—	101,692
退職給付引当金	44,988	43,912
役員退職慰労引当金	83,579	1,997
環境対策引当金	24,499	24,499
その他	12,181	70,869
固定負債合計	165,247	242,969
負債合計	3,276,690	3,038,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,018,648	3,018,648
資本剰余金	2,769,453	2,769,453
利益剰余金	14,062,358	14,637,495
自己株式	△5,672	△5,807
株主資本合計	19,844,787	20,419,787
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△637,696	△698,806
その他の包括利益累計額合計	△637,696	△698,806
少数株主持分	257,920	213,551
純資産合計	19,465,012	19,934,532
負債純資産合計	22,741,701	22,973,194

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	16,062,678	16,199,832
売上原価	12,540,423	12,889,841
売上総利益	3,522,255	3,309,990
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	554,624	565,622
荷造運搬費	292,497	411,749
役員賞与引当金繰入額	26,800	27,440
賞与引当金繰入額	2,957	2,804
福利厚生費	116,538	101,779
退職給付費用	71,355	40,709
役員退職慰労引当金繰入額	20,754	1,479
賃借料	65,896	76,647
交際費	18,309	20,535
旅費及び交通費	75,797	73,720
研究開発費	30,202	54,564
業務委託費	222,593	218,889
その他	220,245	262,528
販売費及び一般管理費合計	1,718,567	1,858,464
営業利益	1,803,688	1,451,526
営業外収益		
受取利息	6,776	5,620
受取配当金	1,080	2,400
受取賃貸料	50,034	50,802
持分法による投資利益	—	99,744
助成金収入	80,853	7,741
その他	20,958	32,556
営業外収益合計	159,701	198,863
営業外費用		
支払利息	23	12
持分法による投資損失	78,089	—
固定資産除却損	24,739	14,746
為替差損	58,948	—
賃貸収入原価	24,790	25,040
その他	12,059	16,212
営業外費用合計	198,648	56,009
経常利益	1,764,741	1,594,379
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,211	—
特別利益合計	1,211	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	3,010
退職給付制度改定損	—	290,733
子会社清算に伴う損失	130,257	—
特別損失合計	130,257	293,743
税金等調整前当期純利益	1,635,694	1,300,637

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
法人税、住民税及び事業税	856,240	249,859
法人税等調整額	△153,830	313,733
法人税等合計	702,410	563,592
少数株主損益調整前当期純利益	933,284	737,045
少数株主損失(△)	△3,644	△43,575
当期純利益	936,929	780,620

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	933,284	737,045
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	57,615	△2,407
持分法適用会社に対する持分相当額	△41,453	△59,497
その他の包括利益合計	16,162	△61,905
包括利益	949,447	675,140
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	958,653	719,510
少数株主に係る包括利益	△9,206	△44,370

(3) 【連結株主資本等変動計算書】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	
株主資本				
資本金				
当期首残高		3,018,648		3,018,648
当期末残高		3,018,648		3,018,648
資本剰余金				
当期首残高		2,769,453		2,769,453
当期末残高		2,769,453		2,769,453
利益剰余金				
当期首残高		13,330,916		14,062,358
当期変動額				
剰余金の配当		△205,487		△205,484
当期純利益		936,929		780,620
当期変動額合計		731,442		575,136
当期末残高		14,062,358		14,637,495
自己株式				
当期首残高		△5,576		△5,672
当期変動額				
自己株式の取得		△96		△135
当期変動額合計		△96		△135
当期末残高		△5,672		△5,807
株主資本合計				
当期首残高		19,113,440		19,844,787
当期変動額				
剰余金の配当		△205,487		△205,484
当期純利益		936,929		780,620
自己株式の取得		△96		△135
当期変動額合計		731,346		575,001
当期末残高		19,844,787		20,419,787
その他の包括利益累計額				
為替換算調整勘定				
当期首残高		△659,420		△637,696
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		21,724		△61,110
当期変動額合計		21,724		△61,110
当期末残高		△637,696		△698,806
その他の包括利益累計額合計				
当期首残高		△659,420		△637,696
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		21,724		△61,110
当期変動額合計		21,724		△61,110
当期末残高		△637,696		△698,806
少数株主持分				
当期首残高		—		257,920
当期変動額				
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		257,920		△44,370
当期変動額合計		257,920		△44,370

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
当期末残高	257,920	213,551
純資産合計		
当期首残高	18,454,020	19,465,012
当期変動額		
剰余金の配当	△205,487	△205,484
当期純利益	936,929	780,620
自己株式の取得	△96	△135
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	279,645	△105,480
当期変動額合計	1,010,991	469,520
当期末残高	19,465,012	19,934,532

(4) 【連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,635,694	1,300,637
減価償却費	663,332	645,279
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,788	5,608
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,609	3,989
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,575	640
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△742	△1,076
前払年金費用の増減額 (△は増加)	21,499	126,735
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,655	△81,582
受取利息及び受取配当金	△7,856	△8,020
支払利息	23	12
持分法による投資損益 (△は益)	78,089	△99,744
有形固定資産処分損益 (△は益)	20,467	12,910
売上債権の増減額 (△は増加)	76,248	△550,423
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△132,790	△104,908
仕入債務の増減額 (△は減少)	357,826	215,238
その他	92,034	△34,730
小計	2,822,567	1,430,566
利息及び配当金の受取額	59,362	72,061
利息の支払額	△23	△12
法人税等の還付額	—	7,232
法人税等の支払額	△539,616	△1,012,019
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,342,291	497,828
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△601,375	△637,670
有形固定資産の売却による収入	6,874	1,300
無形固定資産の取得による支出	△4,000	△1,741
その他	△8,384	△54,074
投資活動によるキャッシュ・フロー	△606,886	△692,185
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△96	△135
配当金の支払額	△205,487	△205,484
少数株主からの払込みによる収入	267,127	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	61,545	△205,620
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,835	1,071
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,793,114	△398,905
現金及び現金同等物の期首残高	6,755,180	8,548,295
現金及び現金同等物の期末残高	8,548,295	8,149,390

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(退職給付引当金)

フジオーゼックス㈱は、確定拠出年金法の施行に伴い、平成23年10月1日に適格退職年金制度から確定給付企業年金制度及び確定拠出年金制度へ移行し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号 平成14年1月31日)を適用しております。

本移行により、当連結会計年度の特別損失として290,733千円を計上しております。

(7) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、エンジンバルブをはじめとした自動車部品の製造・販売に関連した事業活動を行う4社と製品等の運送事業を行う1社から構成されております。従って、「自動車部品製造」及び「流通」の2つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は営業利益をベースとした数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品製造	流通	
売上高			
外部顧客への売上高	15,131,721	930,956	16,062,678
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,089	497,518	501,607
計	15,135,811	1,428,474	16,564,285
セグメント利益	1,601,304	88,531	1,689,835
セグメント資産	22,447,705	293,996	22,741,701
その他の項目			
減価償却費	645,433	17,898	663,332
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	535,801	31,686	567,487

当連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品製造	流通	
売上高			
外部顧客への売上高	15,316,843	882,989	16,199,832
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,865	510,556	517,421
計	15,323,708	1,393,545	16,717,253
セグメント利益	1,342,370	△5,481	1,336,890
セグメント資産	22,708,009	264,539	22,972,548
その他の項目			
減価償却費	621,975	23,303	645,279
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	956,451	2,699	959,150

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	16,564,285	16,717,253
セグメント間取引消去	△501,607	△517,421
連結財務諸表の売上高	16,062,678	16,199,832

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,689,835	1,336,890
セグメント間取引消去	113,853	114,636
連結財務諸表の営業利益	1,803,688	1,451,526

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
1株当たり純資産額	934円72銭	959円75銭
1株当たり当期純利益金額	45円60銭	37円99銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	936,929	780,620
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	936,929	780,620
普通株式の期中平均株式数(株)	20,548,626	20,548,316

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	19,465,012	19,934,532
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	257,920	213,551
(うち少数株主持分)(千円)	(257,920)	(213,551)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	19,207,091	19,720,981
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	20,548,421	20,548,003

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

①代表者の変動 (平成24年6月26日予定)

新任予定代表取締役社長 ふか や けん ご 深 谷 研 悟 (現 大同特殊鋼株式会社代表取締役 副社長)
 退任予定代表取締役社長 よし かわ けん ぞう 吉 川 健 三 (当社相談役就任予定)

②その他の役員の変動 (平成24年6月26日予定)

1. 新任取締役候補

取 締 役 お ざわ ひで き 小 沢 英 樹 (現 営業部長)
 取 締 役 い とう まさ き 伊 藤 昌 記 (現 技術開発部長)
 取 締 役 たか の ゆう じ 高 野 雄 次 (現 製造部長)

2. 退任予定取締役

取 締 役 いけ じ し ろう 生 地 志 朗 (理事 富士気門 (広東) 有限公司総経理就任予定)
 取 締 役 かわ の しん じ 河 野 新 治 (当社常勤監査役就任予定)

3. 新任監査役候補

常勤監査役 かわ の しん じ 河 野 新 治 (現 取締役)

4. 退任予定監査役候補

常勤監査役 ふく た たか ゆき 福 田 孝 行 (当社顧問就任予定)